

# 留萌地本ニュース

発行  
【第1号】  
2012年5月15日  
留萌地方本部  
伊藤 広和

## 遠別町職自治労共済学習会

# えっ？！「こんな」に違うの？

### 可処分所得を増やそう

4月23日、遠別町職では自治労共済の学習会を開き、2人が参加した。

学習会では、自治労共済北海道支部・黒坂事務局次長から「お金と保険のちよつといのお話」と題し、「保険と共済

の違い」や、「ライフステージ（※）」ごとに補償額を見直すことで、過大な保障と掛け金を見直すことができることを学んだ。

黒坂次長からは、「可処分所得とは、賃金から税金・社会保障費などを引いた差額、自分で自由に使えるお金を



【写真】学習会の様子

### 労働組合を活用しよう

共済学習会前段には自治労共済北海道支部・萩原損害調査部副部長から「労働組合を活用しよう」と題し、自立的

増やそう」と述べ、「賃金が減らされる現状から、組織を守る意味からも可処分所得を増やす取り組みを組織的に行的ていこう」と強調した。  
参加者からは「保障が大きいのに掛け金が高くなりに安いとは知らなかった」などの声があった。

## 労使関係は慣例では「×」

### 自律的労使関係制度学習会～3月22日苫前町職

道本部組織拡大推進室・吉田雅人さんを招き、「自立的労使関係制度」の流れや問題点を基礎から学びました。

吉田さんからは、「当局との良好な労使関係（慣例）で黙認していたら突然合理化提案があるかもしれない」と述べ、「労使協定のルールをつくるのが大切」と強調しました。

学習会の後半には、臨時・非常勤職員や社会福祉協議会、消防職員の組織化の状況などから「地域における職員組合として、何をしていかなければならないのか」について討論し、学習を深めました。

学習会後は講師とともに懇親会で盛り上がりました。



先のことなど  
わからない...



「今のことですら一杯、退職後のことなど考えられない」  
だからこそ、今から始めておきませんか？  
将来のあなた自身のプレゼント。

◆お問い合わせ・お申し込みは組合へ  
**自治労共済の長期共済**  
全日本自治体労働者共済生活協同組合  
<http://www.jichiro-kyosai.jp/>

### 編集後記

みなさま初めまして。  
留萌地本で書記長をしています伊藤です。  
書記長となり1年が過ぎましたが、振り返れば早いものだと感じている今日この頃・・・  
振り返った途端あることを思い出しました。  
「そう言えばしばらく留萌地本ニュースを出してなかったな・・・(冷汗)」  
という訳でこの手の作業は非常に苦手ですが、試行錯誤しやっと作り上げた留萌地本ニュース第1号を暖かい目でお読みいただければ幸いです。  
正直、第2号を出せるか自信が無いな・・・(泣)